

英語 出題の意図

本英語問題では、名古屋大学に入学して、英語で書かれた学術誌や書籍を読み、それらを正確に理解し、内容からさまざまな推論ができる英語能力、および英語で表現する力を持っているかどうかを問う。

I

加重毛布と睡眠についての具体的な英文記事を読み、下線部の英文および和文を正確に理解して翻訳する力、下線部の指示する内容を文脈に即して正確に捉えてから日本語で要約・表現する力、各段落のつながりを読み取る力などを測定する。

II

講義とアクティブ・ラーニングという二つの授業形式に関する論理的な英文記事を読み、問題文全体の流れを正確に理解する力、文意が通るように英文を構成する力、段落の主題を読み取る力、文脈に即して適切な語彙を選択する力などを測定する。

III

古い家電の修理に関する娘と父の英語の会話を読み、その流れや内容を正確に理解する力、日本語の会話文を英訳する力、発話される時の口調や気持ちを読み取る力、会話の理解に基づいて自分の意見を英語で書く力を測定する。

IV

大学入学後に英語でレポートや論文を執筆するには、関連情報を迅速かつ正確に理解し、それを踏まえて自分の考えを論理的に表現できなければならない。良心箱に投入される金額（x 軸）と毎週そこに貼り出される写真（y 軸）の関係およびその根拠を英語で説明する力を測定する。

英語 正解・解答例

I

1. 製造業者は体重の 10%以下の加重毛布を選ぶことを一般的に推奨するが、これはおおよその目安に過ぎず、科学的研究に基づいていないようである。
2. 加重毛布を用いずに親知らずを抜く処置を受けた患者たち (26 字)
3. 加重毛布で寝ると畏で捕らえられたように感じる事 (24 字)
4. 9 キログラムの毛布は、重すぎて体を丸めることができないとは思わなかったが、寝床を整える作業をちょっとした筋力トレーニングに実際に変えてしまった。
5. after a few months of using the weighted blanket, I found myself waking up at night for a completely different reason.
6. ① (オ) ② (ア) ③ (イ) ④ (カ)
7. [a] (エ), [b] (ウ), [c] (ア), [d] (カ)

II

1. 教員は、例題を自ら解いてみせる代わりに、クラスの学生たちが小グループに分かれて例題を解くようにさせ、自分は巡回しながら質問をしたりヒントを与えたりしながら、学生たちを徐々に解答へ導く。
2. 3 番目 (say), 5 番目 (wish), 12 番目 (taught), 14 番目 (way)
3. 優れた話し手が聴衆に接し、彼らを教育することで、前例のない影響力を持つ時代 (37 字)
4. 学生時代のすべてを情報を授けられるだけで過ごし、それを疑ってみる機会が一度も与えられなかったら、人生において必要となる、ものごとを考え直してみるための技量を鍛えることはないだろう。
5. (B) => (C) => (E) => (D) => (A)
6. [イ] (F), [ロ] (D), [ハ] (J), [ニ] (C), [ホ] (B)
7. (D)

III

1. She was concerned about the environmental damage caused by our disposable culture and the globally increasing amounts of waste.
2. (A)
3. It is an old family photo, which is the last one taken with my grandfather before he passed away.
(19 words)
4. (a) リ, (b) ニ, (c) イ, (d) ヌ, (e) ハ
5. (B), (D)

IV

The figure shows that staff paid more for milk during “eye weeks” than “flower weeks,” particularly when the eyes seemed to be looking directly at the viewer. One possible reason for this is that the eyes made staff feel they were being watched, which caused them to behave more honestly.
(50 words)